

# 上越市議会 各層との意見交換会 開催記録

上越青年会議所及び上越商工会議所青年部、各区商工会  
×  
上越市議会文教経済常任委員会



**【日時】** 令和3年5月18日（火）  
18時30分～20時10分

**【会場】** 木田庁舎 第2委員会室

# 上越青年会議所及び上越商工会議所青年部、各区商工会 × 上越市議会文教経済常任委員会

テーマ「市内経済活性化に向けた仕事づくりや支援策について」

意見・質問	
1	公共工事について、元請け業者が大手の会社になるのは仕方ないと思っているが、下請けに市外、県外の業者が来ており、コロナ禍においてリスクがある。市内地元業者が使われていない。
2	様々な業種において人材不足が課題となっている。その中でも介護職は、仕事はあるが人がおらず大変な状況である。市からも力添えをしてほしい。
3	輸入物の酒類は、メーカーの生産調整やコンテナ不足、運賃上昇などの影響で海外からの物流が滞っており、手に入りづらい状況が続いている。実質的な損害は無くても、目に見えないダメージがある。
4	コロナ禍で医療機関における本の需要が低迷し、マガジンラックが無くなったり、待合室に置いてある購読紙のキャンセルが相次いだりしている。その後も購入状況は元に戻っていない。
5	大潟商工会青年部は15人で活動している。後継者がおらず、部員数が少ないまま活動が進んでいくのが現状である。
6	コロナ禍で大潟かっぱ祭りが2年連続中止となっている。いろいろなブース・店舗が力を合わせていたが、実施できないことで、元気がなくなっていると感じる。
7	大潟商工会青年部が企画運営している恋活パーティーin大潟は、毎回定員を大きく超える参加があり、これまで15組以上成婚したが、今年度はコロナ禍で実施できていない。事業費として約60万がかかっており、補助金も20万ほどあるが、持ち出し部分もあり事業継続が難しいと感じている。市からの支援を望む声もある。
8	地域振興券が紙ベースでの運用となっているが、電子化にできないか。また、電子決済に係る機械導入の補助や、高齢者向けの使い方講座に関する支援があればよいと思う。
9	頸城商工会青年部は、若手の後継者が5名しかおらず、13区で一番少ない。頸城商工会及び青年部の存続が危うい。
10	米本陣が閉館となり、寂しいという声も聞こえる。コミュニティスペースや子どもたちが遊ぶスペースなど、施設をうまく活用できないか。
11	消雪設備利用に伴う地盤沈下などに対し、環境対策のため、地下水の循環利用や地熱の利用などの工事に関する補助金があればお客様にも提案しやすい。

意見・質問	
12	運営している英語塾で、Zoomを導入することよりオンライン授業の環境整備をすることができた。苦境を逆手に取り、新しい取組にチャレンジすることも大切だと思う。
13	市の中小企業者チャレンジ応援事業補助金や店舗等改装促進事業補助金を有効に活用したい。
14	外仕事は大変で、すぐやめる若者もあり、教育が難しい。楽しい仕事と思ってもらえるように、YouTubeでの動画配信も考えている。面白い動画ができれば、意欲を見出す若者も増えるかもしれないので、取り組むに当たっては何かしらの支援があれば良いと思う。
15	若い人は、自分がやりたいことがあるのであれば、起業すればいい。市の中小企業者チャレンジ応援事業補助金は、金銭的に背中を押せる良い支援策だと思う。
16	市内で求人が集まらなければ、Iターンなど県外等からの求人を考えることも良いのではないかと。県外からのIターン者や採用した企業に対する補助金があれば良いと思う。
17	飲食店やスーパーなど、敷地内に駐車場を持つ商売は、大雪時の除雪によるダメージが大きい。雪山の排雪も必要であり、相応の経費がかかるため、利益からマイナスとなる。除雪を他業者へ依頼する際の補助があれば良いと思う。